

1. 科目名 (単位数)	心理的アセスメント／心理検査法 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP1110						
2. 授業担当教員	平久江 薫								
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>臨床心理学において、必須の知識である必要な心理査定技術の基礎を習得する。担当教員が選定した代表的な心理検査について、1. 理論的背景、2. 実施方法、3. 結果の整理方法、4. 解釈方法、5. 利用上の注意点、6. 適応範囲と限界などを理解することを目的とする。心理検査法の基礎的な事項（理論や施行法）を身に付けるために、演習を重視する。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 担当箇所の心理検査をレジュメにまとめて、プレゼンテーションを行う。 2. 検査者・被検者体験、心理検査の事例等に関してグループディスカッションを行う。 3. 実施した心理検査に関して、レポートを提出する。 <p>といった方法で、各検査法の特徴と臨床現場での使用の仕方を体験的に学ぶ。</p> <p>また、時間がゆるせば、1. 査定法の選び方、2. 環境の整え方、3. 結果の報告やフィードバックの仕方 などについても検討する。</p>								
8. 学習目標	心理査定法の中でも、特に心理検査法に焦点をあてる。演習を行うことによって心理査定技術の基礎的な技術を身につけ、活用できる。								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	各心理検査実施後にワークシートの記入と提出を求める。授業内で仕上がらなかった際にはアサインメントとして次回までに完成させる。また、期末にレポートのテーマ等詳細は授業の終盤で告知する。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】松原達哉 編『臨床心理アセスメント新訂版』丸善出版, 2013</p> <p>【参考書】松本真理子・森田美弥子編 『心の専門家養成講座③心理アセスメント—心理検査のミニマムエッセンス』ナカニシヤ出版</p> <p>【教材】授業で扱う心理検査の質問紙や記録用紙を必要に応じて用いる。また終盤の描画法で画材を使用する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ディスカッションに参加し、自分の意見を述べるができる。 2. 心理検査の概要について理解を深め、適切な発表ができる。 3. 心理検査について学んだことについて、明瞭かつ論理的な文章で説明ができる。 <p>○評定の方法</p> <p>受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢、心理検査に関する発表、課題レポート等を総合して総合的に評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>2. 心理検査に関する発表</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポート</td> <td>40%</td> </tr> </table>			1. 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢	30%	2. 心理検査に関する発表	30%	3. 課題レポート	40%
1. 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢	30%								
2. 心理検査に関する発表	30%								
3. 課題レポート	40%								
12. 受講生へのメッセージ	この授業では心理アセスメントの重要なツールである心理検査について主なものを取り上げ、演習・体験学習を行います。より良い心理学的支援を目的とし、各心理検査が何を捉えようとしているのか理解を深めます。								
13. オフィスアワー	授業開始時に告知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	臨床心理査定概論	事前学習	教科書の第 1 章を熟読し、「臨床心理アセスメントの目的」についてまとめる。						
		事後学習	心理アセスメントの目的について、グループディスカッションをした内容を整理してまとめる。						
第 2 回	臨床心理査定の種類	事前学習	教科書の第 3 章を熟読し、「心理検査の種類と内容」についてまとめる。						
		事後学習	心理査定の内容について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。						
第 3 回	心理検査各論 I 発達検査 1 : 概論	事前学習	教科書の第 4 章を熟読し、「発達検査総論」の要旨をまとめる。						
		事後学習	発達検査について、グループディスカッションをした内容を整理してまとめる。						
第 4 回	心理検査各論 I 発達検査 2 : 遠城寺式乳幼児分析的発達検査	事前学習	教科書の第 4 章を熟読し、「遠城寺式乳幼児分析的発達検査」の概要についてまとめる。						
		事後学習	遠城寺式乳幼児分析的発達検査について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。						
第 5 回	心理検査各論 I 発達検査 3 : 日本版デンバー式発達スクリーニング検査	事前学習	教科書の第 4 章を熟読し、「日本版デンバー式発達スクリーニング検査」の概要についてまとめる。						
		事後学習	日本版デンバー式発達スクリーニング検査について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。						
第 6 回	心理検査各論 I 発達検査 4 : 発達検査まとめ	事前学習	発達検査の復習をしておく。						
		事後学習	発達検査の意義と目的について事例を元に振						

			り返る。
第7回	心理検査各論Ⅱ 知能検査1：知能検査の意義と目的	事前学習	教科書の第5章を熟読し、「知能測定の意義と目的」についてまとめる。
		事後学習	知能測定の目的について、グループディスカッションをした内容を整理してまとめる。WISC-IVについて、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第8回	心理検査各論Ⅱ 知能検査2：ビネー式知能検査	事前学習	教科書の第5章を熟読し、「ビネー式知能検査」の概要についてまとめる。
		事後学習	ビネー式知能検査について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第9回	心理検査各論Ⅱ 知能検査3：ウェクスラー式知能検査①言語理解	事前学習	教科書の第5章を熟読し、「WISC-IV」の概要についてまとめる。
		事後学習	WISC-IVの言語理解指標について復習をする。
第10回	心理検査各論Ⅱ 知能検査4：ウェクスラー式知能検査②知的推理	事前学習	WISC-IVの知的推理指標について調べておく。
		事後学習	WISC-IVの知的推理指標について復習をする。
第11回	心理検査各論Ⅱ 知能検査5：ウェクスラー式知能検査③ワーキングメモリー	事前学習	WISC-IVのワーキングメモリー指標について調べておく。
		事後学習	WISC-IVのワーキングメモリー指標について復習をする。
第12回	心理検査各論Ⅱ 知能検査6：ウェクスラー式知能検査④処理速度	事前学習	WISC-IVの処理速度指標について調べておく。
		事後学習	処理速度指標について復習すると共に、WISC-IVについて体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第13回	心理検査各論Ⅱ 知能検査7：高齢者の認知機能検査について	事前学習	教科書の第5章を熟読し、「高齢者の認知機能に関する検査」の概要についてまとめる。
		事後学習	高齢者の認知機能に関する検査について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第14回	心理検査各論Ⅲ 質問紙法（性格・人格検査）1：概論	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「人格検査の種類」についてまとめる。
		事後学習	人格検査の種類について、グループディスカッションをした内容を整理してまとめる。
第15回	心理検査各論Ⅲ 質問紙法（性格・人格検査）2：Y-G性格検査①	事前学習	「YG性格検査」の理論と実施方法について調べる。
		事後学習	YG性格検査の実施方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第16回	心理検査各論Ⅲ 質問紙法（性格・人格検査）3：Y-G性格検査②	事前学習	「YG性格検査」の採点方法・解釈方法について調べる。
		事後学習	「YG性格検査」の採点方法・解釈方法についてまとめる。
第17回	心理検査各論Ⅳ 質問紙法（不安・ストレス検査）1：SDS	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「SDS」の概要についてまとめる。
		事後学習	SDSについて、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第18回	心理検査各論Ⅳ 質問紙法（不安・ストレス検査）2：STAI	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「STAI不安測定尺度」の概要についてまとめる。
		事後学習	STAI不安測定尺度について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第19回	心理検査各論Ⅴ 投影法（SCT）1	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「SCT」の施行方法についてまとめる。
		事後学習	SCTの施行方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第20回	心理検査各論Ⅴ 投影法（SCT）2	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「SCT」の採点方法・解釈方法についてまとめる。
		事後学習	SCTの解釈方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第21回	心理検査各論Ⅴ 投影法（ロールシャッハテスト）1	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「ロールシャッハテスト」の施行方法についてまとめる。
		事後学習	ロールシャッハテストの施行方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第22回	心理検査各論Ⅴ 投影法（ロールシャッハテスト）2	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「ロールシャッハテスト」の採点方法・解釈方法についてまとめる。
		事後学習	ロールシャッハテストの解釈方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第23回	心理検査各論Ⅴ 投影法（TAT）1	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「TAT」の施行方法についてまとめる。
		事後学習	TATの施行方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第24回	心理検査各論Ⅴ	事前学習	教科書の第6章を熟読し、「TAT」の採点方法・

	投影法 (TAT) 2		解釈方法についてまとめる。
		事後学習	TAT の解釈方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第 2 5 回	心理検査各論VI 描画法 1 : HTP①	事前学習	教科書の第 6 章を熟読し、「HTP」の施行方法についてまとめる。
		事後学習	HTP の施行方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第 2 6 回	心理検査各論VI 描画法 2 : HTP②	事前学習	教科書の第 6 章を熟読し、「HTP」の採点方法・解釈方法についてまとめる。
		事後学習	HTP の解釈方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第 2 7 回	心理検査各論VI 描画法 3 : 風景構成法①	事前学習	教科書の第 6 章を熟読し、「風景構成法」の施行方法についてまとめる。
		事後学習	風景構成法の施行方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第 2 8 回	心理検査各論VI 描画法 4 : 風景構成法②	事前学習	教科書の第 6 章を熟読し、「風景構成法」の採点方法・解釈方法についてまとめる。
		事後学習	風景構成法の解釈方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第 2 9 回	心理検査各論VI 描画法 5 : 動的家族画	事前学習	配付資料を熟読し、「動的家族画」の施行方法についてまとめる。
		事後学習	動的家族画の施行方法について、体験学習を踏まえて振り返りを行う。
第 3 0 回	まとめ	事前学習	教科書のすでに学習した部分を熟読して、記憶が曖昧な部分を明確にしておく。
		事後学習	学習した内容を再度整理しておく。